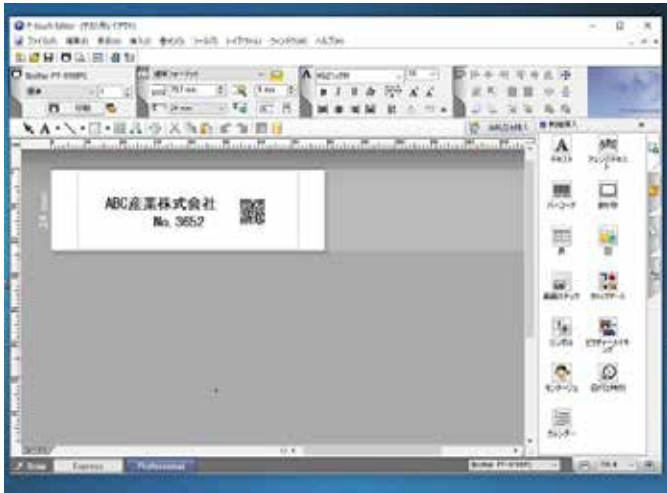


ラベルプリンターによるマーク製版について



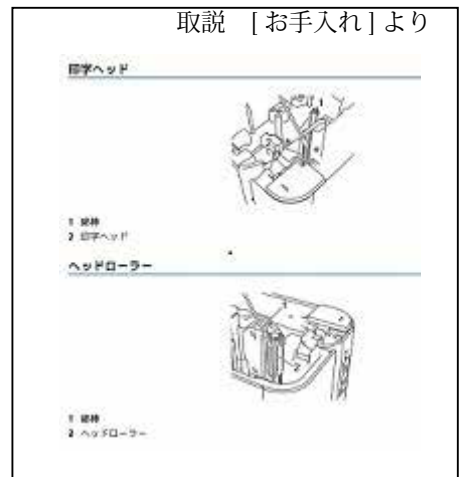
印刷品質では標準の 360dpi × 360dpi 及びハーフトーン

プリンターはラベルテープの印刷が目的で、ステンシルテープの製版は目的外の使用になります。次のことに配慮して下さい。

印字ヘッドのドット熱によりビニールテープに穴を空けて製版します。皮膜は熱により委縮するので孔版となりますが、その皮膜が蒸発した訳ではありません。残留物として電荷を帯び周囲に付着しております。ほとんどがテープや台紙に付着して排出しますが、印字ヘッドの周辺ローラーにも残留します。しばらく使用していると、それが原因でマーク周辺にピンホールが発生します。プリンターの取説に掲載されている通り [お手入れ] に従って綿棒を利用し周辺とローラー部分を拭き取り清掃して下さい。



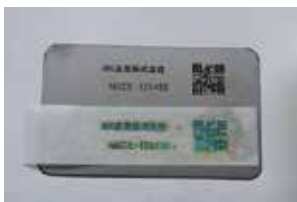
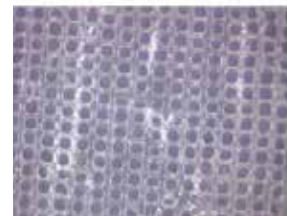
綿棒の綿に一度水を含ませ、それをよく絞ってローラー及びその周辺を清掃します。また、ヘッドの部分はクリーニングテープ



プ (36mm TZe-CL6) をセットしてハサミマークのボタンを押しヘッドクリーニングを行います。3回は押ししてテープを送り印字ヘッドのクリーニングをします。テープは (100 回分) 2.5m で巻取りになっています。水性マジックペンで製版したマークの面を擦るとインクに含まれる溶剤で、ビニール周囲に付着している剥離膜の洗浄を行う事となり、マークを一層鮮明にしてくれます。後は、インクの拭き取りですが、コピー用紙挟むかティッシュなどで、軽く拭き上げます。



ステンシルテープ孔版面の拡大写真
周辺にビニールが付着しています。



例 ステンレス板にマーキング

ビニール面にインクを塗る
コピー用紙に挟む、直ぐに開く

余分なインクは用紙に付着



これでマークの位置が分かります。